



2022年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年8月9日

上場会社名 サントリー食品インターナショナル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2587 URL <https://www.suntory.co.jp/sbf/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 和弘
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営企画本部長 (氏名) 石川 一志 TEL 03-5579-1837
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 2022年9月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第2四半期の連結業績 (2022年1月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第2四半期	679,009	12.4	80,370	33.1	80,206	35.2	58,108	43.4	48,734	51.5	129,486	80.0
2021年12月期第2四半期	603,835	9.3	60,401	69.1	59,343	69.0	40,508	52.5	32,159	53.7	71,927	-

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第2四半期	157.72	-
2021年12月期第2四半期	104.07	-

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年12月期第2四半期	1,848,875	1,056,633	956,528	51.7
2021年12月期	1,676,926	943,952	860,593	51.3

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 四半期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年12月期第2四半期	80,562	△8,170	△32,837	224,426
2021年12月期第2四半期	88,976	△24,168	△72,559	162,280

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	-	39.00	-	39.00	78.00
2022年12月期	-	39.00	-	-	-
2022年12月期 (予想)	-	-	-	39.00	78.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年12月期の連結業績予想 (2022年1月1日～2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,369,000	7.9	125,500	5.8	124,000	5.9	88,500	6.6	73,500	7.0	237.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2022年12月期2Q	309,000,000株	2021年12月期	309,000,000株
2022年12月期2Q	57株	2021年12月期	31株
2022年12月期2Q	308,999,960株	2021年12月期2Q	308,999,997株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社及び当社グループが本資料の発表日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいるため、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、当社及び当社グループの事業を取り巻く経済情勢、市場動向、為替レート等に関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知おき下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、お客様の嗜好・ニーズを捉えた上質でユニークな商品を提案し、お客さまとともに新たなおいしさ、健やかさ、楽しさを創造し続けそれぞれの市場で最も愛される会社となることを目指すという考えのもと、ブランド強化や新規需要の創造に注力したほか、品質の向上に取り組みました。また、各エリアにおいて収益力の強化にも取り組みました。

第1四半期連結会計期間に引き続き、当第2四半期連結会計期間も欧州及び米州において需要が力強く拡大したことに加え、当第2四半期連結会計期間以降、日本及びアジアパシフィックにおいて新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染者数減少を受けた規制緩和が進んだことも寄与し、当社グループは力強い成長を継続しました。年初より全セグメントでコアブランドへの集中活動を継続した結果、引き続き主要国においてシェアを拡大しました。

売上収益は、当社グループ合計で想定を上回る進捗となりました。

営業利益は、当第2四半期連結会計期間より、原材料価格及びエネルギー価格高騰の影響を更に大きく受ける中、売上収益の伸長に加え、全セグメントにおいてコスト削減活動を継続したことにより、想定を上回る進捗となりました。

当第2四半期連結累計期間(2022年1月1日～6月30日)の連結売上収益は6,790億円(前年同期比12.4%増)、連結営業利益は804億円(前年同期比33.1%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は487億円(前年同期比51.5%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

[日本事業]

当第2四半期連結会計期間において、まん延防止等重点措置の解除に伴い需要が回復し始めたことに加え、好天の影響もあり、清涼飲料市場(当社推定)は前年同期を上回りました。水・コーヒー・無糖茶カテゴリーを中心にコアブランド強化に取り組み、新商品発売やマーケティング活動が貢献した結果、当社販売数量は前年同期を大きく上回り、当第2四半期連結累計期間において過去最高を達成するとともに、市場シェアを更に拡大しました。

「サントリー天然水」は、大容量及び小容量(500ml PET等)がともに前年同期を大きく上回り、ブランド全体の販売数量が当第2四半期連結累計期間において過去最高の販売数量となりました。「BOSS」は、ブランド全体の販売数量が前年同期を上回りました。「クラフトボス」は、2月にリニューアルしたコーヒー及び紅茶シリーズが引き続き伸長しました。無糖茶カテゴリーでは、「伊右衛門」は、ブランド全体の販売数量が当第2四半期連結累計期間において過去最高の販売数量となりました。「伊右衛門 京都ブレンド」に加えて、2月に機能性表示食品として新発売した「伊右衛門 濃い味」がともに伸長しました。また、4月にリニューアルを実施した「特茶」は、販売トレンドが大きく回復しており、当第2四半期連結累計期間において前年同期を上回りました。

売上収益は、販売数量の大幅な増加が寄与し、当第2四半期連結累計期間の想定並みの進捗まで回復しました。

セグメント利益については、サプライチェーンのコスト削減活動を含めたコストマネジメントを引き続き徹底しましたが、当第2四半期連結会計期間より、想定以上の為替及び原材料価格高騰の影響を更に大きく受けました。

日本事業の売上収益は3,059億円(前年同期比2.6%増)、セグメント利益は141億円(前年同期比19.6%減)となりました。

[アジアパシフィック事業]

アジアパシフィックでは、清涼飲料事業及び健康食品事業のコアブランド集中活動を継続しました。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響が一部の地域で残る中、当第2四半期連結会計期間においてもベトナムの清涼飲料事業の需要拡大が本格化し、事業を大きく牽引しました。販売数量の伸長に加え主要市場における価格改定も寄与し、売上収益は想定を上回る進捗となりました。ブランド別には、ベトナムでは、特にエナジードリンク

「Sting」、茶飲料「TEA+」が大きく伸長し、シェアを拡大しました。タイでは低糖製品を含め「Pepsi」が好調に推移し、炭酸カテゴリーにおいてシェアを維持しました。健康食品事業では、主力の「BRAND'S Essence of Chicken」に注力したことにより、売上収益が前年同期を上回りました。オセアニアでは、主力ブランドであるエナジードリンク「V」へのマーケティング活動継続により、ニュージーランド及びオーストラリアで引き続き販売数量が前年同期を上回って推移しております。

セグメント利益については、当第2四半期連結会計期間において原材料価格高騰の影響を更に大きく受けましたが、売上収益の伸長により低減し、想定を上回る進捗となりました。

なお、オセアニアにおいてフレッシュコーヒー事業を展開していた子会社の全株式譲渡を2022年4月1日に完了したことから、当第2四半期連結累計期間において譲渡益158億円をその他の収益に計上しています。

アジアパシフィック事業の売上収益は1,746億円（前年同期比17.4%増）、セグメント利益は413億円（前年同期比74.8%増）となりました。

[欧州事業]

欧州では、当第2四半期連結会計期間においても需要増が継続しました。好天の影響もあり、フランス、英国、スペインともに販売数量が引き続き伸長したことに加え、価格改定も寄与し、売上収益は想定を大きく上回る進捗となりました。

フランスでは、堅調な家庭用市場に加えて、当第2四半期連結会計期間より業務用市場が大きく回復しました。前第2四半期連結会計期間にリニューアルを実施した主力ブランド「Oasis」の伸長が継続していることに加え、「Orangina」及び「Schweppes」の販売数量も前年同期を大きく上回りました。英国では、需要増が継続する中、主力ブランド「Lucozade」の販売数量が前年同期を大きく上回りました。「Lucozade Energy」が堅調に推移していることに加え、「Lucozade Sport」が、スポーツイベントや屋外アクティビティの増加に伴い力強く伸長しました。スペインでは、当第2四半期連結会計期間より、家庭用市場及び業務用市場の需要が大きく回復したこともあり、主力ブランド「Schweppes」の販売数量が前年同期を大きく上回りました。

セグメント利益については、当第2四半期連結会計期間において原材料価格及びエネルギー価格高騰の影響を更に大きく受けましたが、販売数量の伸長と価格改定による売上収益の大幅な増加が寄与し、想定を大きく上回る進捗となりました。

欧州事業の売上収益は1,401億円（前年同期比26.1%増）、セグメント利益は233億円（前年同期比23.7%増）となりました。

[米州事業]

主力炭酸ブランドの更なる販売強化に取り組むとともに、伸長している非炭酸カテゴリーにも注力したことにより、販売数量が引き続き増加しました。売上収益は、価格改定も寄与し、想定を上回る進捗となりました。

セグメント利益については、売上収益の伸長により、原材料価格や人件費高騰の影響を吸収し、想定を上回る進捗となりました。

米州事業の売上収益は585億円（前年同期比27.1%増）、セグメント利益は74億円（前年同期比26.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び現金同等物、売上債権及びその他の債権の増加等により、前連結会計年度末に比べ1,719億円増加して1兆8,489億円となりました。

負債は、仕入債務及びその他の債務の増加等により前連結会計年度末に比べ593億円増加して7,922億円となりました。

資本合計は、その他の資本の構成要素の増加等により、前連結会計年度末に比べ1,127億円増加して1兆566億円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ478億円増加し、2,244億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益802億円、減価償却費及び償却費351億円、仕入債務及びその他の債務の増加438億円等に対し、棚卸資産の増加202億円、子会社株式売却益158億円、売上債権及びその他の債権の増加332億円等により、資金の収入は前年同四半期と比べ84億円減少し、806億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産及び無形資産の取得による支出271億円等があったものの、子会社の売却による収入195億円等により、資金の支出は前年同四半期と比べ160億円減少し、82億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの減少26億円、長期借入金の返済による支出128億円等により、資金の支出は前年同四半期と比べ397億円減少し、328億円の支出となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月期の連結業績予想につきましては、2022年2月14日に発表しました連結業績予想を据え置きとしております。為替の円安影響や事業譲渡益などが業績の上振れ要因としてあるものの、北半球は第3四半期連結会計期間において最盛期を迎えること、ロシア・ウクライナ情勢を起因とする原材料価格・エネルギー価格の未曾有の高騰やインフレの進行に加えて、コロナ変異株の拡大リスクなど、当社を取り巻く環境は引き続き不透明な状況が続くことなどによります。第3四半期連結会計期間以降は、全セグメントにおいて更に厳しいコスト環境が続く見通しである中、需要の拡大を確実に捉え、価格改定を含めたRGM（レベニューグロースマネジメント）を継続するとともに不断のコスト削減活動を継続してまいります。価格改定時期が第4四半期連結会計期間からとなる日本事業が、円安及び原材料価格高騰の影響を大きく受ける可能性ある中、グローバルポートフォリオの強みを活かし、連結業績予想の達成に向けて活動を強化していきます。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
	百万円	百万円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	176,655	224,426
売上債権及びその他の債権	240,584	283,898
その他の金融資産	1,252	3,811
棚卸資産	87,807	107,931
その他の流動資産	23,953	24,389
小計	530,253	644,457
売却目的で保有する資産	—	6,035
流動資産合計	530,253	650,492
非流動資産		
有形固定資産	372,337	382,255
使用権資産	52,260	51,664
のれん	255,599	267,085
無形資産	430,086	466,132
持分法で会計処理されている投資	1,005	1,115
その他の金融資産	13,847	14,373
繰延税金資産	14,173	8,923
その他の非流動資産	7,362	6,831
非流動資産合計	1,146,673	1,198,382
資産合計	1,676,926	1,848,875

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
	百万円	百万円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
社債及び借入金	55,789	72,195
仕入債務及びその他の債務	354,595	405,469
その他の金融負債	30,877	38,919
未払法人所得税等	14,757	23,255
引当金	2,016	1,241
その他の流動負債	5,529	10,367
小計	463,565	551,448
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	—	2,975
流動負債合計	463,565	554,424
非流動負債		
社債及び借入金	109,558	79,894
その他の金融負債	54,241	47,803
退職給付に係る負債	14,697	15,489
引当金	4,312	4,835
繰延税金負債	81,403	85,146
その他の非流動負債	5,196	4,647
非流動負債合計	269,409	237,816
負債合計	732,974	792,241
資本		
資本金	168,384	168,384
資本剰余金	182,423	182,461
利益剰余金	536,996	573,032
自己株式	△0	△0
その他の資本の構成要素	△27,210	32,650
親会社の所有者に帰属する持分合計	860,593	956,528
非支配持分	83,358	100,105
資本合計	943,952	1,056,633
負債及び資本合計	1,676,926	1,848,875

(2) 要約四半期連結損益計算書

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
	百万円	百万円
売上収益	603,835	679,009
売上原価	△350,219	△411,233
売上総利益	253,615	267,776
販売費及び一般管理費	△192,666	△203,204
持分法による投資損益	20	70
その他の収益	980	17,388
その他の費用	△1,549	△1,660
営業利益	60,401	80,370
金融収益	259	830
金融費用	△1,317	△994
税引前四半期利益	59,343	80,206
法人所得税費用	△18,834	△22,098
四半期利益	40,508	58,108
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	32,159	48,734
非支配持分	8,349	9,373
四半期利益	40,508	58,108
1株当たり四半期利益(円)	104.07	157.72

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
	百万円	百万円
四半期利益	40,508	58,108
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
金融資産の公正価値の変動	21	189
確定給付制度の再測定	△238	△51
純損益に振り替えられることのない項目合計	△216	137
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	30,631	70,527
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の変動	957	564
持分法投資に係る包括利益の変動	47	149
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	31,635	71,241
税引後その他の包括利益	31,419	71,378
四半期包括利益	71,927	129,486
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	60,342	107,947
非支配持分	11,585	21,539
四半期包括利益	71,927	129,486

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計	非支配持分	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年1月1日	168,384	182,414	492,451	△0	△61,495	781,755	77,801	859,556
四半期利益			32,159			32,159	8,349	40,508
その他の包括利益					28,183	28,183	3,235	31,419
四半期包括利益合計	—	—	32,159	—	28,183	60,342	11,585	71,927
配当金			△12,050			△12,050	△3,676	△15,727
非支配持分との取引		△34				△34	27	△6
所有者との取引額合計	—	△34	△12,050	—	—	△12,085	△3,649	△15,734
2021年6月30日	168,384	182,380	512,559	△0	△33,312	830,012	85,737	915,749

当第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計	非支配持分	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年1月1日	168,384	182,423	536,996	△0	△27,210	860,593	83,358	943,952
四半期利益			48,734			48,734	9,373	58,108
その他の包括利益					59,212	59,212	12,165	71,378
四半期包括利益合計	—	—	48,734	—	59,212	107,947	21,539	129,486
自己株式の取得				△0		△0		△0
配当金			△12,050			△12,050	△4,741	△16,792
非支配持分との取引		38				38	△50	△12
利益剰余金への振替			△647		647	—		—
所有者との取引額合計	—	38	△12,698	△0	647	△12,012	△4,792	△16,805
2022年6月30日	168,384	182,461	573,032	△0	32,650	956,528	100,105	1,056,633

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	59,343	80,206
減価償却費及び償却費	34,547	35,091
減損損失及び減損損失戻入(△は益)	147	108
受取利息及び受取配当金	△246	△485
支払利息	934	956
持分法による投資損益(△は益)	△20	△70
子会社株式売却損益(△は益)	—	△15,842
棚卸資産の増減額(△は増加)	△15,026	△20,152
売上債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△32,065	△33,202
仕入債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	41,886	43,758
その他	13,853	2,184
小計	103,353	92,550
利息及び配当金の受取額	213	396
利息の支払額	△1,201	△918
法人所得税の支払額	△13,388	△11,466
営業活動によるキャッシュ・フロー	88,976	80,562
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△22,482	△27,108
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	26	409
事業譲受による支出	△2,181	—
子会社の売却による収入	—	19,491
その他	469	△962
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,168	△8,170
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△42,612	△2,615
長期借入れによる収入	11,187	6,429
長期借入金の返済による支出	△18,108	△12,768
リース負債の返済による支出	△6,941	△6,619
配当金の支払額	△12,050	△12,050
非支配持分への配当金の支払額	△4,033	△5,212
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△72,559	△32,837
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,750	39,554
現金及び現金同等物の期首残高	167,480	176,655
現金及び現金同等物の為替変動による影響	2,550	11,125
売却目的で保有する資産に含まれる現金及び現金同等物	—	△2,909
現金及び現金同等物の四半期末残高	162,280	224,426

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。